

# 権利擁護／虐待防止

## 事例検討編④

①「明らかな虐待行為」と「グレーゾーンな行為」

# この教材のねらい

今回、配信する教材はある一つの事例を使って、さまざまな視点から考えて「虐待行為」について理解を深めていくものである。

この教材は、「虐待行為とはどういうものであるのか」について考える入り口として活用していただきたい。

難易度はそれほど高くはないが、しっかり考えていくことが大切である。

# 事例（Aスタッフのことば）

Aスタッフは高齢者施設での介護経験が豊富で、即戦力として期待されて中途採用されました。Aスタッフ自身もそのことを十分に理解し、この施設のやり方を早く覚えようと取り組むほか、人懐っこい性格も駆使して、他のスタッフや利用者とも積極的に関わり信頼関係の構築に取り組んでいます。

Aスタッフは新しく入所してきたBさんの担当になりました。Bさんには子がいません。夫が亡くなった後はずっと一人で暮らしてきました。

Aスタッフは相談員から簡単な引き継ぎを受けた後、Bさんの居室に行き、Bさんに向き合って「Bさん、今日からよろしくお願ひしますね」と挨拶しました。そして、ベッド横の床頭台に置いてある写真立てを指さし、「この写真はBさんの息子さん？」と質問しました。そのとき、Bさんの表情が一瞬くもりましたが、そのことにAスタッフは気がつきませんでした。Bさんが「いいえ、夫です」と答えると、Aスタッフは思わず「あっ！ そうだったそうだった。お子さんがいないって聞いていました。若いからてっきり息子さんかと思っちゃった！ あはは」と言ってしまう。「早くに夫を亡くしましたので……」と話すBさんに「あー、そうだったんだ。でも、イケメンの父さんだわ」と言いました。

# 事例（続き）

Aスタッフは、その後も訪室のたびに写真に向かって「父さん、待っててね。これから母さんを食事に連れて行きますから」と言ったり、「父さん、母さんをレクに連れて行きます。お留守番、よろしくお願いします」と話しかけました。

またBさんに対しても「父さんがあの世で心配しないようにリハビリがんばろうね」と言ったり、「今日は一杯食べたねー、きっと父さんもあの世で喜んでるよ」と言ったりしました。

ある日、Aスタッフがいつものように写真に話しかけて、「さあ、レクに行くよー」と言うと、突然Bさんから「あなたに夫のことを父さんなんて気安く呼ばれる筋合いはない！」と大声で怒鳴られてしまいました。

個人ワーク(10分)

Aスタッフはどのような虐待をしたと思いますか？

Aスタッフがしたと思われる虐待行為について、整理しましょう。

1) 明らかに虐待であると判断できる  
行為は何だと思いますか？

2) 虐待であるかどうか判断に迷う  
「グレイゾーン」の行為(「不適切なケア」)は何だと思いますか？

## グループワーク(20分)

3)この事例から何が問題なのか話し合ってみましょう。

## 個人ワーク(10分)

4) ワークシートに「虐待行為」と「グレーゾーン」に分けて記入しましょう

# この教材を終えるにあたって

この研修には「正解」はありません。「虐待行為とはどういうものなのか」について考えてもらうことが目的だからです。

人によってとらえ方が違うことも理解できたらこの研修は成功です。

お疲れさまでした。

教材作成

北海道総合福祉研究センター  
理事長 五十嵐教行